

財団法人建築研究協会 講演会

文化財建造物の耐震診断と

維持管理技術の最前線

開催日：平成19年6月12日（火曜日）午後1時～4時30分

近年、住宅など建築物の耐震診断や耐震改修が普及しつつある中、寺院や町屋など伝統的な木質建造物についてもその診断や改修技術の確立と普及が求められつつあります。本講演会では伝統構法による木質建造物の耐震診断や改修に関する技術開発や、腐朽や虫害などの木質の劣化とその対策に関する知見を関係者に紹介します。

会場：京都市国際交流会館



京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1 TEL:075-752-3010

プログラム

伝統的木質建造物の耐震性能と耐震診断

京都大学防災研究所教授・鈴木祥之

文化財に見られる生物劣化と診断および維持管理

京都大学生存圏研究所教授・今村祐嗣
京都大学大学院農学研究科准教授・藤井義久

文化財建造物の保存修復の現状と課題

文化財保護行政担当者

司会：大阪大学大学院工学研究科教授・甲津功夫

主催：財団法人建築研究協会

協賛：京都大学防災研究所、京都大学生存圏研究所

後援（予定を含む）：文化庁、京都府教育委員会、滋賀県教育委員会、大阪府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、（社）全国国宝重要文化財所有者連盟

CPD：建築士会継続能力開発（CPD）プログラム認定申請中

定員：100名（先着順）

参加料：無料（希望者には講演資料を有償で提供します。）

参加申込および問合せ先

参加希望者は（財）建築研究協会に氏名・所属・連絡先等を記入した申込書をファックスかメールで下記までご送付下さい。

（財）建築研究協会 〒606-8203 京都府京都市左京区田中関田町43
FAX 075-751-7041 E-Mail: kenkyojm@star.ocn.ne.jp